

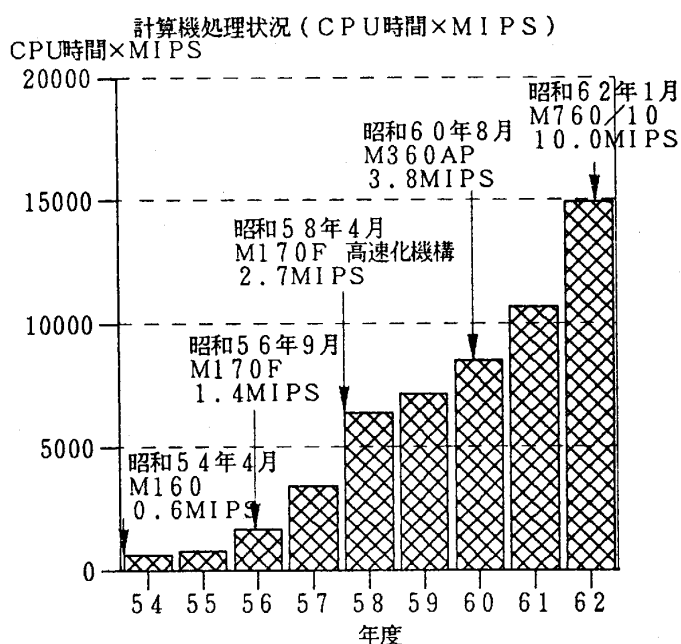
K P S P (Kanazawa Plotter Subroutine Package)

【説明】 金沢大学情報処理センターでは、GRACE, PSP 等のソフトウェアを用いて計算機でグラフを描くユーザが年々増加している。このような状況の中で GRACE, PSP で図を描く場合、文字が不鮮明である、文字が貧弱である、漢字の作画が困難だといった不満も増加する傾向にある。

KPSP は図中の軸目盛、表題、注釈等の文字作画機能に重点を置いて開発されたもので、特に漢字の作画は、従来の方法とくらべ非常に簡単に行える。KPSP の特徴を以下に挙げる。

- ① 漢字、アルファベット、数字、特殊文字を鮮明な文字（この広報に用いているような文字）で作画できる。また作画の際、次の指定ができる。文字の高さ（0.16、0.24、0.30、0.40、0.64、1.28cm）、文字の間隔、傾き、濃さ（4段階）、方向、回転、数字の場合の出力書式（I, F 書式）
- ② 制御文字を使用することによって、ギリシャ文字や下付き文字、上付き文字も簡単に作画できる。
- ③ 富士通の PSP の機能をかなりサポートしている。
- ④ 従来の GRACE のプログラムを修正しなくても、プログラムの実行方法を少し変えるだけで図中の文字が鮮明な文字に置き換る。

初めて KPSP に接する人や、従来のグラフの文字だけを鮮明な文字に置き換えたい人は、従来の GRACE のプログラムを実行方法だけ変えて出力してみるとよい。また軸表題や、注釈等を日本語で作画したい人は、KPSP のサブルーチンを用いればよい。



文字のサイズ

回転	情報処理
濃度	K P S P
ギリシャ文字	$AB\Theta\Delta E\Phi\Gamma\alpha\beta\theta\delta\epsilon\phi\gamma$
下付き文字	A_1+A_2, H_2SO_4
上付き文字	$A^x+B^y, x^{-1/2}$
半角文字	1234567890ABCDEFGHIJ

サブルーチンの使用方法は K P F D の GRAMMAR 画面参照のこと。

【Y. T.】